



拷問芸術展





拷問芸術展

ここは世間一般には知られていない
人間を作品として展示している
「終の美術館」と呼ばれる非合法組織の施設。



設立の経緯や資金の出所も一切不明で
他の犯罪組織もこの美術館には関わろうとしない。

ある日、一人の記者が美術館を訪れた。
記者は誘拐された妹がここに連れて
来られた事を突き止め、招待されていた
来館者になりすまして美術館に潜入した。
妹を救出し、ここで行われている犯罪を
世間に公表しなくてはならないと
記者の心は使命感に駆られていた。



「終の美術館へようこそ。」

記者を出迎えたのは露出度の高い衣装を着た
異様な雰囲気的女性だった。

『始』と申します。

私は終の美術館唯一の常設展示作品であると同時に作品のガイドを務めています。当美術館では現在、企画展として『拷問芸術展』を開催しております。拷問を主題として制作された様々な作品が展示されています。それではご一緒に参りましょう。」



始と名乗る女性は最初の作品の前へ記者を案内し、作品についての解説を始めた。

展示ケースの中に飾られた少女は両手を吊り上げた状態で拘束され、全身は痣だらけで顔も酷く腫れ上がり、ぐったりとしていた。

展示ケースの台座にはプレートに作品の題名と恐らく作品にされてしまう以前の姿を写したであろう少女の写真が飾られていた。

模様

「鈍器などで殴打して出来た痣で模様を描いた色彩豊かな作品です。時間の経過とともに変化する模様は鑑賞者に何度でも異なる新鮮な印象を与えてくれるでしょう。」



手足を拘束された状態で首を吊るされた少女は
つま先立ちをして、かろうじて呼吸をしている。
時折よるめきながらも姿勢を保とうと
必死に苦しみに耐えている様子だった。

始は解説を終える毎に記者を
次の作品の前へ案内し、丁寧に
一つ一つの作品を解説していった。

人魚

「手足の自由と呼吸を制限する事で
地上で苦しむ人魚を表現した作品です。
体を捻らせながら、懸命にもがく様は
生命の哀れ、儚さを感じさせます。」



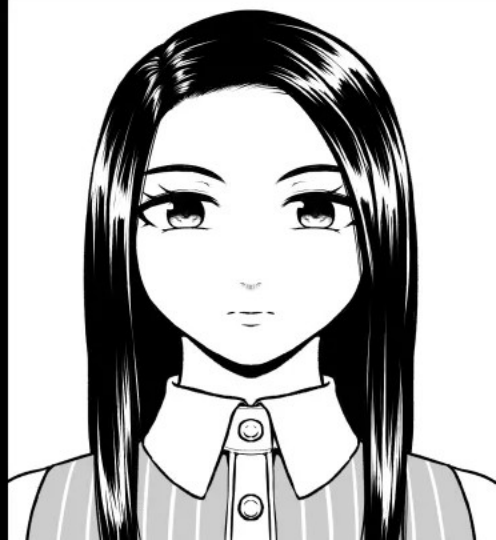
椅子に拘束された女性が
何らかの薬剤を投与されている。
女性の表情からは理性が
全て失われてしまっている様だった。



幸福と不幸



「幸福と不幸、相容れない二つの要素を
両立させた作品です。頭の中がぐちゃ
ぐちゃに壊れていくのに、人生最大の
快感が彼女に最高の笑顔をもたらし
幸福と不幸の渦を作り上げています。」



口と肛門にホースを
繋がれた少女が悶え苦しんでいる。
今にも破裂しそうに膨らんだ腹を
記者は見つめられず、少女から
視線を逸らすしかなかった。

おっぱいおっぱい

グキョ

グキョ

うへへへへ

ビュ

ビュ

水風船

「水を利用した拷問で水風船を再現した
とても涼しげな作品です。ホースと唇は
強力な接着剤で隙間なく塞がれ、嫌でも
水を飲まなければならない仕組みです。
膨らんでいくお腹に胸が高鳴りますね。」



若い女性がギロチンにかけられている。
啜えている縄を放した瞬間に
彼女がどうなるかは明白だった。



蠟燭



「命の灯をギロチンによって可視化した作品です。拷問としては物理的な苦痛は乏しいですが、精神的な苦痛と恐怖は他の拷問を凌駕するでしょう。…まだしばらくは持ちそうですね。次の作品に参りましょうか。」





磔にされた少女が
絶叫している。
性器に深々と
突き刺さった
異物には鋭い刃が
多数生えており
少女が想像を絶する
痛みに襲われている
のが、その叫びから
嫌でも伝わってくる。

喪失



「日々、人は様々な喪失を経験します。喪失は悲しみや痛みを伴って、心に傷を残します。そんな深い心の傷と処女の喪失を重ね合わせた作品です。心の傷を表現したこの痛々しい絶叫は聞く者の心を確かに揺さぶります。」





吊るされた女性の乳首と性器に
付けられたピアスには鉄球が
吊るされており、女性は苦痛に
歪んだ顔で助けを求めている。

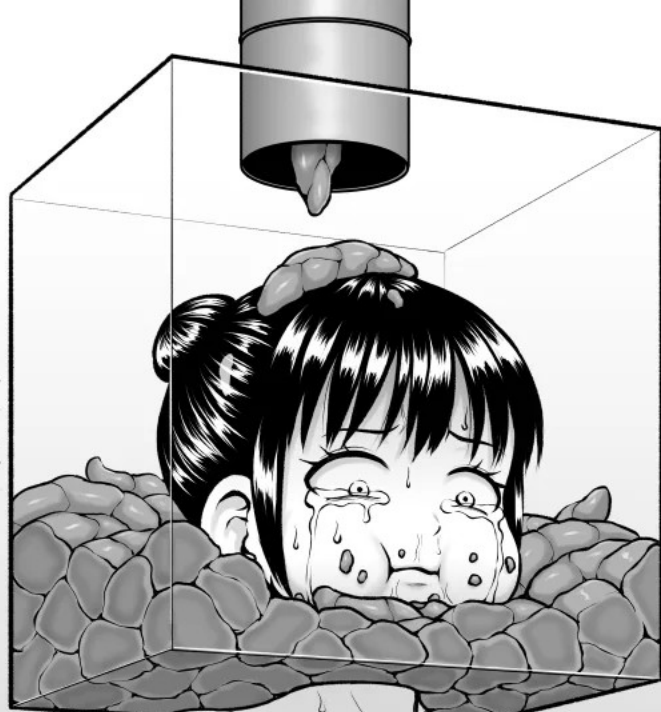
吊るされる女



「吊るされた女の乳首と性器に鉄球を
吊るし、何個で千切れるかを試す単純な
拷問ながら、遊び心に溢れた実験型
作品です。企画展の期間中、徐々に
鉄球が追加されていく予定です。」



んぐ



んん

ぐちゃ

水槽の様な容器を被らされた少女は
有刺鉄線で拘束されていた。
水槽に繋がれたパイプからは次々に
糞便が排出され、容器の中を満たしていく。

ぐちゃ



糞便に埋まり、窒息するのを防ぐ為に
少女は懸命に糞便を食らい
生き延びようと必死に抵抗していた。
しかし、有刺鉄線が食い込む程に膨らんだ腹は
すでに少女の限界に近い事を示していた。

暴食の少女

「暴食は七つの大罪の一つとされて
いますが、生存の為に行う暴食は
果たして罪となるのでしょうか？
そんな問いを投げかける作品です。
因みに糞便は他の作品が排泄した物を
再利用し、環境にも配慮されています。」



正気を疑う様な作品の数々に、記者は何度も吐き気を催しながらも怪しまれない様に平静を装い、ガイドに案内され、美術館の奥へと進んで行った。記者の妹はまだ見つかったっていない。妹の無事を祈りながら、記者は考えを巡らせる。この美術館は一体何なのか？作品の制作者は誰なのか？自身を作品と名乗り、理解不能な作品解説を続ける彼女は何者なのか？記者が解説中の始の横顔を見つめて考えていると、不意に始が記者の方に振り向いた。『私の事が気になりますか？』と始が記者に問いかけてきた。突然の問いかけに記者が返答に戸惑っていると『私に関する解説は企画展を最後までご覧いただいた後でよろしいですか？』そう問われて記者は黙って頷いた。

「少しだけ先にお伝えしておきますとこの貞操帯は館長の指示で、自衛の為に身に着けております。来館者の中には作品をご覧になって、興奮されてしまう方も時々ですが、いらっしゃいますから…。さあ、展示はまだ続いておりますので、参りましょう。」





雷鳴

「電流を用いた拷問によって雷鳴の轟音と衝撃を再現した作品です。性器に取り付けたクリップからは常に電流が流れ、肛門に挿入された高出力の改造スタンガンが不定期に起動する仕組みになっています。」



宙吊りにされた少女が炙られている。
泣き叫ぶ少女の全身からは
とてつもない量の汗が滴り落ち
展示ケース内がどれだけ高温に
なっているかを物語っていた。



少女の香り



「人は調理する事はあっても、なかなか調理される事はありません。人間が食材になったとしたら、どんな反応をするのかを試してみた作品です。なんだかお腹が空いてきましたね。」



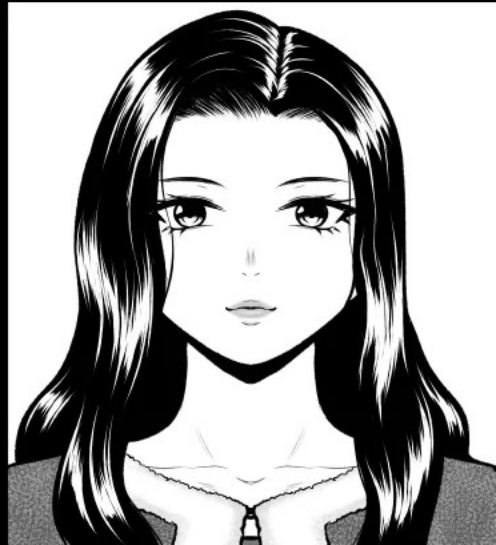


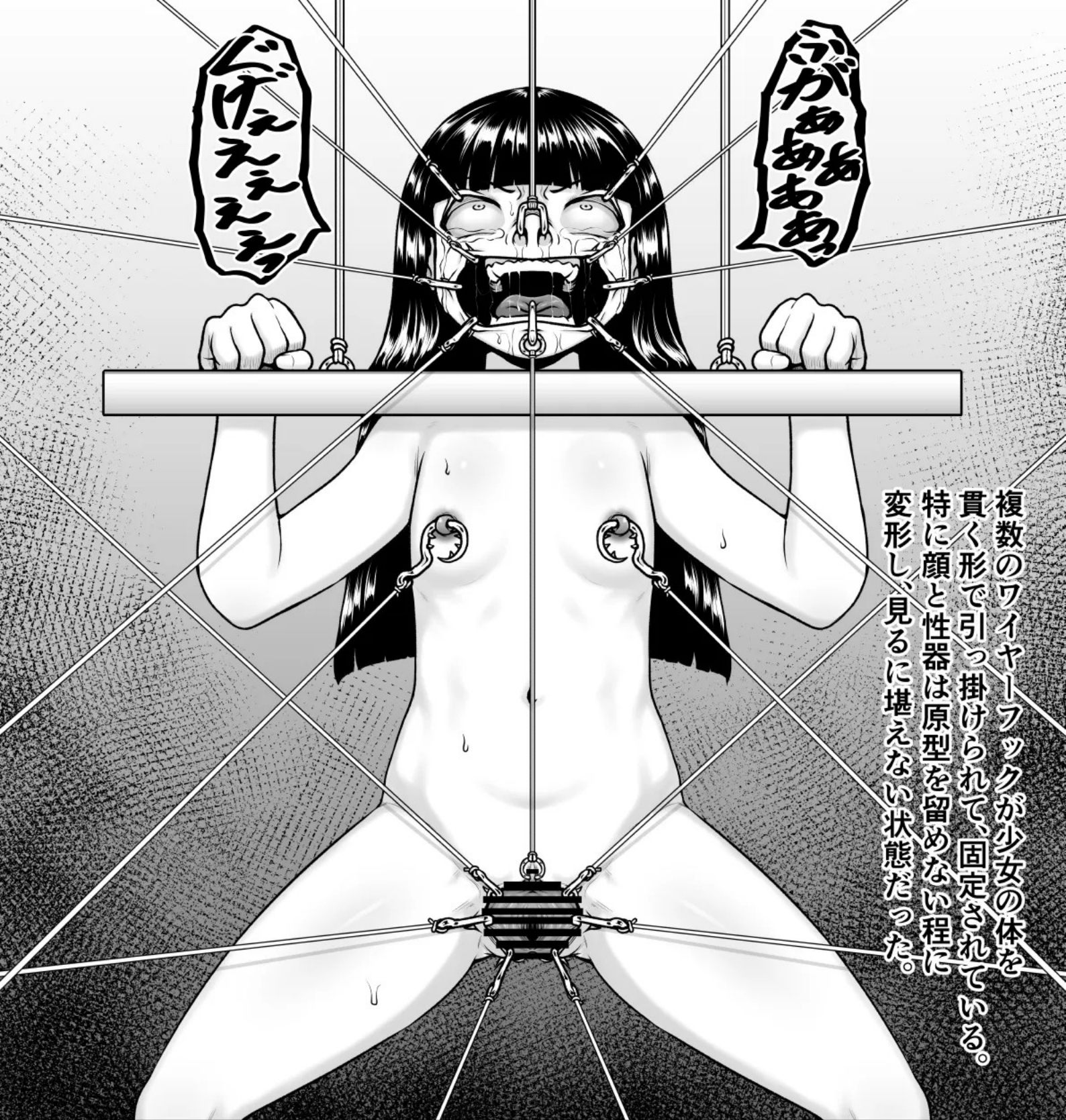
三角木馬に乗せられた女性は性器から出血し、唸り声を上げて痛みに耐えている。多くの血はすでに乾燥し、黒く変色して固まっております。女性が長時間、この状態で放置されているであろう事が窺えた。

晒される女



「引廻しで見世物にされる罪人を表現した作品です。大の字で木馬に乗せられた姿は程良く滑稽で、汚く生えた腋毛が羞恥心を上手く引き立てているのも素敵です。落下防止に鎖で乳首と木馬を繋いでいます。」



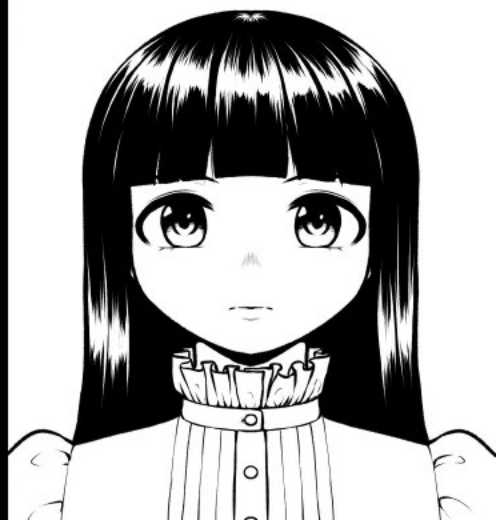


複数のワイヤーフックが少女の体を貫く形で引つ掛けられて、固定されている。特に顔と性器は原型を留めない程に変形し、見るに堪えない状態だった。

蜘蛛の巣



「ワイヤーを蜘蛛の巣に見立て蜘蛛の巣に捕らわれてしまった哀れな虫を表現している作品です。蜘蛛の巣に捕らわれた虫は蜘蛛に食べられてしまうまでの間、一体何を思うのでしょうか。」

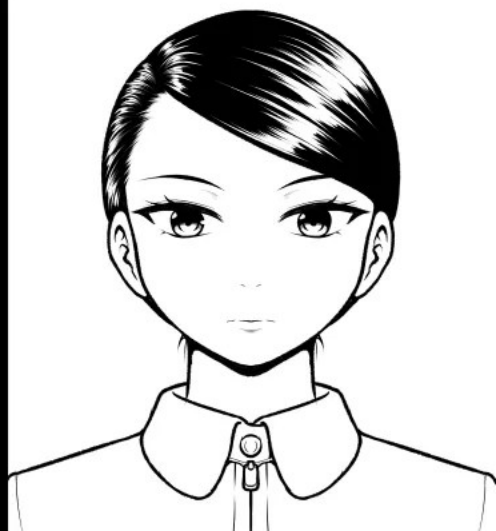


額縁に埋め込まれた女性は以前の姿を写した写真からは信じ難い、見るも無残な姿に変貌していた。壁に埋まっている部位の皮膚には褥瘡が発生し、女性には激しい痛みを苦しんでいた。



額縁の中の女

「人体を額の中に埋め込んだ制限のある状態で、どこまで苦痛を与えられるかに挑戦した作品です。限られた部位に調和を考えながら、適切な拷問を行うのは至難の業だったそうです。」





手足の先を切断されて
宙吊りにされた少女は
体中を針で貫かれていた。

棘の生えた心



「年頃の少女の複雑な心情を表現した
作品になります。多感な時期は心が宙に
浮きがちです。思い悩む中で心に生えた
棘は一見、身を守っている様で実際は
自身にも刺さり苦しんでいるのです。」



展示ケースの中で横たわる女性は
一体どれだけ凄惨な拷問を
受けたのか想像も出来ない程に
全身に深い傷痕が残されていた。

女性は一見、死んでいる様にも
見えたが微かに呼吸をしていた。
しかし、記者にはこの状態で
生きている事が幸運とは
到底思えなかった。

愛しの残骸

「あらゆる拷問を受けた正に人間の
残骸と呼ぶべき作品です。今はただ
生かされ続ける事こそが彼女にとって
最大の拷問と言えるでしょう。
この作品は私も大変気に入っています。」



両腕、両脚を切断された少女が
うめき声を上げて泣いている。

妊婦の様に膨らんだ少女の腹には
生々しい縫合の跡が残されているだけでなく
時折、何かが中で動いているのが見て取れた。



少女のぬいぐるみ



「クマのぬいぐるみを少女の体で
再現したとても可愛い作品です。
お腹の中には何が詰められているの
でしょうね？そんな好奇心をくすぐる
ワクワクしてしまう一作です。」



妹は見つからないまま
記者は最後の展示室に
繋がる階段の前へと
辿り着いた。

想像を遥かに
超える狂気を
目の当たりにして
記者は自身が
突き止めた情報が
どうか間違いで
あつて欲しいと
願っていた。

しかし、妹が本当にここにいるとしたら…
自分以外に妹を救い出せる人間はいない…と記者は先に進む覚悟を決めた。

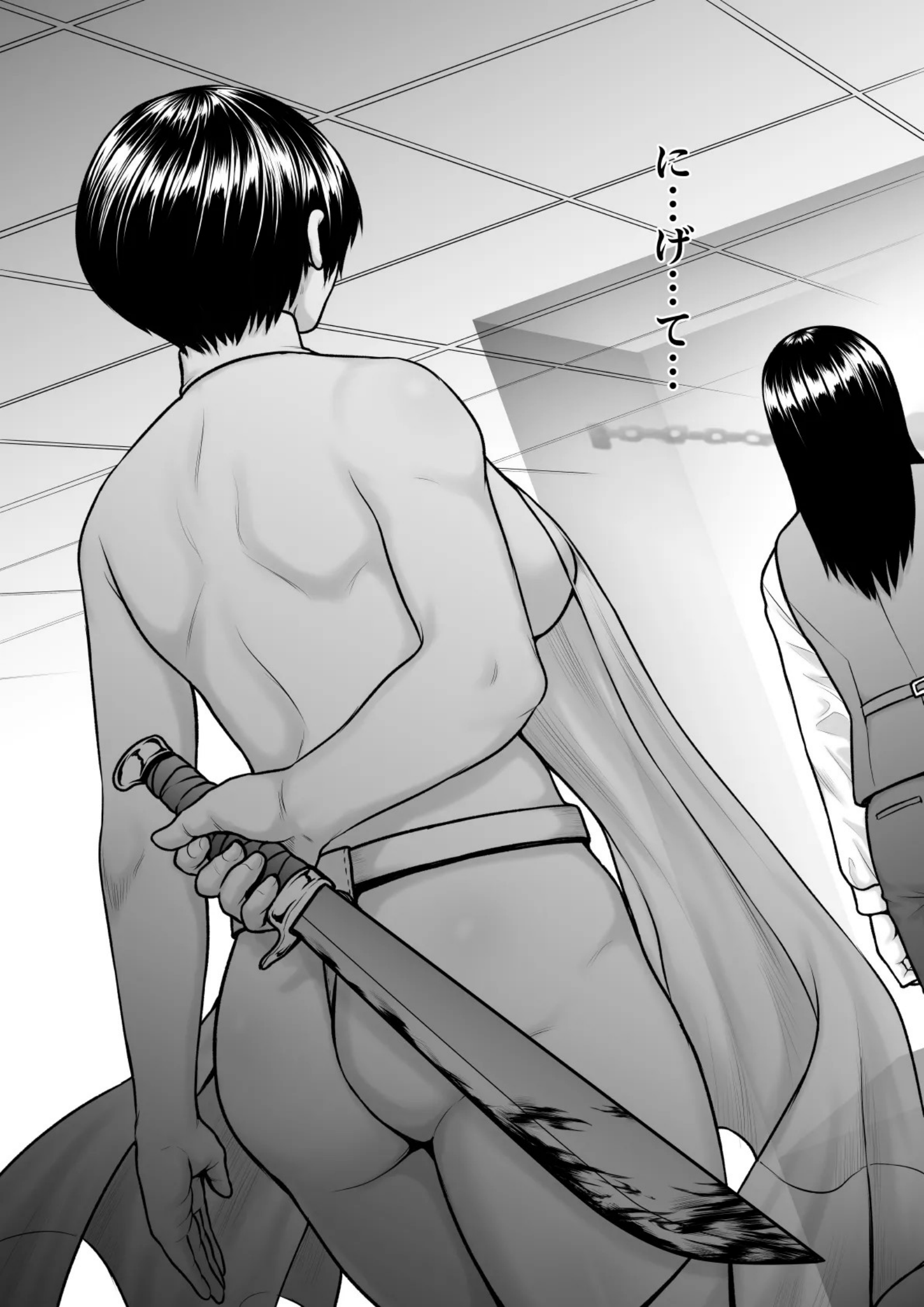
「この先、暗くなつて
おりますので足元
お気を付けください。」



記者の妹は変わり果てた姿で展示されていた。
想像を絶する悲惨な姿に記者は
膝から崩れ落ちそうになるのを
どうにか堪えながら、妹を助ける方法を
考えようとしたが、頭が働かない。

記者は妹が微かに唇を動かしている事に気が付いた。
自分に何かを伝えようとしているのだと
思い、唇の動きを必死に観察した。
この時、記者は気付いていなかった。
プレートに題名がなく、ここまで全ての作品で
聞かされていた解説が始まらない事に…。





に……げ……て……

薄れゆく意識の中で記者は考えた。
突き止めた情報も何もかも最初から
全て仕組まれていたのだと…。

妹を救えず、何一つ成し得ず
あの狂った女の娯楽として
自分の人生は消費される…。

記者は最後に小さく呟いた。
『誰か…助け…て…。』

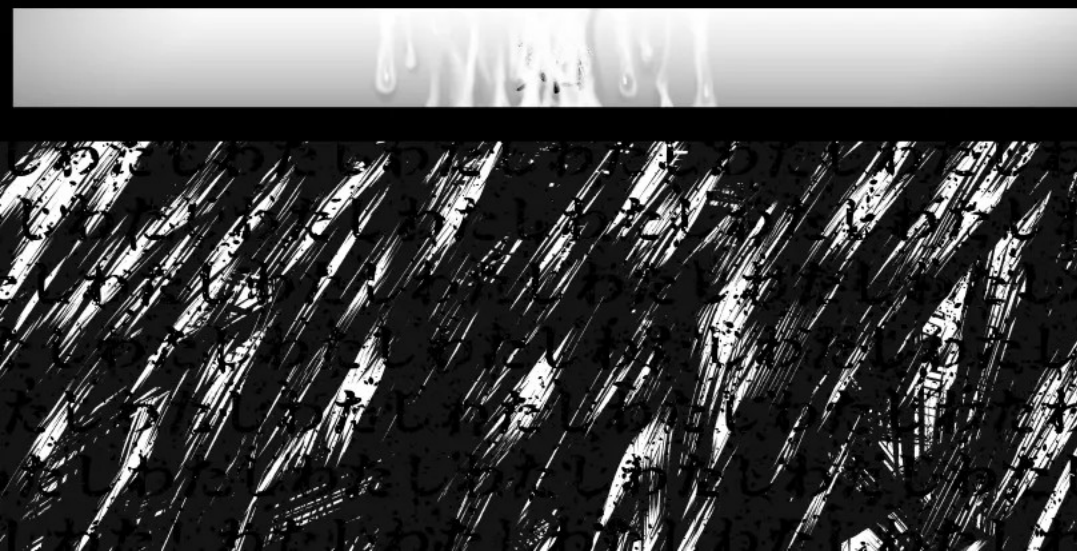
生命

「双子を素材に使用し、生命の神秘を
再現した作品です。拷問芸術展における
最大の目玉作品になっております。
では改めまして、正式に拷問芸術展を
開催いたします。終の美術館からの
招待状を楽しみにお待ちください。」



「苦痛は美しく、絶叫は愛しく
恐怖に怯える顔は滑稽で
痛みに歪む顔は爽快で
絶望で完成する
あなた達の人生を
私は祝福します。」

「ああ……だけど、どうか死なないで。
死は退屈でつまらないから……。
死ななければもっと楽しいのに。
死ななければもっと苦しめられるのに。
いつか……いつかきつと永遠の苦痛を……
終わらない絶望を……そんな
最高の作品を作り上げましょう。」



■あとがき

サークル楽園屋の楽と申します。
この度はご購入頂き、誠にありがとうございます。

25作目です。久しぶりに結構ハードな内容な上に、いつもとは違った形式の作品となりましたが、いかがだったでしょうか。初めての試みだった部分もあり、悩む場面もありましたが、とりあえず完成してほっとしています。

絵に関しては、もっとペースを上げて作業を進められればと思っていますが無理をすると体を壊してしまうので健康にも気を配りつつ、出来る限り頑張ります。

内容に関しては、これだけの人数のキャラとそれぞれの拷問の内容を考えるのは想像以上に大変でした。哀れにも作品にされてしまった彼女達には作品にされる以前の姿以外、名前もプロフィールも一切ありませんが、これは彼女達を作品に作り変えた張本人が彼女達の過去に何も興味がない事を表しています。酷い奴ですね。ですので、彼女達のプロフィールに関してはそれぞれのご想像にお任せします。因みに一人だけ過去作のキャラが今作に登場しています。気になる方は楽園屋の1作目をご覧くださいただければと思います。

次回作についてはまだ未定ですが、来年は過去作の続編を色々と描いていこうと考えています。いつものシリーズから何年も続編を出せていないものまでそれぞれ準備を少しずつ進めています。次回作については決まりましたら、また次回作予告をpixivやXに投稿する予定ですのでよろしくお願いします。

それでは機会があればまた別の作品で。ありがとうございました。

2025年11月27日 楽園屋 楽

Pixiv-ID 41315964
FANBOX <https://rakuenya.fanbox.cc/>
X(Twitter) @rakuenya

※違法アップロードは犯罪です。10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。違法アップロードには発信者情報開示請求、損害賠償請求などの法的手段をとらせていただきます。

※2020年10月より改正著作権法が施行されました。
リーチサイトの運営、侵害コンテンツへのリンクの掲載も違法となります。
2021年1月より違法にアップロードされた著作物のダウンロードは刑事罰の対象となります。一定の要件の下で私的使用目的でも違法となります。
※本作は有償で提供している作品です。

注意事項！
・本作品はフィクションです。実在の人物、団体等とは一切関係ありません。
・18才未満の閲覧禁止
・無断転載・複製・複写・頒布・共有・改変・翻訳を禁じます。
・無断転載を行った場合、著作物使用料を請求致します。
・本書の内容には犯罪行為の描写がありますが、犯罪行為を推奨するものではなく、実際にこの様な行為を行った場合、法律により罰せられます。絶対に真似をしないでください。
・違法アップロード等の著作権侵害行為を発見した場合、損害賠償請求、著作権侵害での警察への通報等の対応を取らせて頂く場合があります。

caution
Illegal upload, unauthorized reproduction, duplication, copying, distribution, sharing, modification, and translation are prohibited.